

部会活動

環境配慮推進活動部会

環境配慮推進活動部会には事業者の会員が多く、主に自団体における日頃の事業活動に伴う環境負荷の低減を図るための取り組みを進めるとともに「市民共同のまちづくり」に参画して、企業の貢献を生かしたまちづくりを進める活動をしています。

平成20年度末現在で15団体が所属しています。

活動紹介

アイドリング・ストップ運動（共催事業）

目的・概要

環境配慮推進活動部会は、自動車の排気ガスによる大気汚染や地球温暖化を抑制するため、平成9年度以降、駐停車時のアイドリングや無用な暖機運転をしないよう市民に啓発する「アイドリング・ストップ運動」を部会活動の核に据えて展開しています。

具体的な活動内容は、アイドリング・ストップ運動を推進するために作成したステッカーを主催者が率先して車両に貼付してアイドリング・ストップを励行するほか、関係機関や市民にステッカーを配布して広く実践を呼び掛けるというものです。

平成20年度も市と共催してこの運動を実施し、市内のガソリンスタンドや市役所の窓口で約5千枚のステッカーを配布しました。

さらに、6月の環境月間では6月29日（日）開催の環境フェアに部会も協力し、会場である万代シテイにおいて市職員などのフェア参加者とともに街頭キャンペーンを行い、約5百枚のステッカーを配布しました。

これまでの経緯

平成9年度：アイドリング・ストップ運動が部会活動のテーマの一つとして承認され、運動の基本的な進め方が決定された。

平成10年度：アイドリング・ストップ運動ステッカーを作成、市内のガソリンスタンドや市役所の窓口、関係機関を通じて市民にステッカーを配布し、広く実践を呼び掛ける方法が決定された。街頭キャンペーンなどの実質的な運動を開始し、約5万6千枚のステッカーを配布した。

平成11年度：「環境フェア」会場内で街頭キャンペーンを実施するなどして、約6万4千枚のステッカーを配布した。

平成12年度～20年度：継続して運動を実施し、ステッカーを配布している。



アイドリング・ストップ運動 新潟市にいがた市民環境会編



街頭キャンペーン（環境フェア会場）